企業・団体名（　栗林建設有限会社　　）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	当社では男性、女性、高齢者などさまざまな方が働いているが、その中で差別的な言動などを行うことがないよう社内会議や朝礼等で確認している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	女性従業員もいるため、女性に配慮した環境を整えている。 社内に相談窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	当社は基本的に勤務時間＋多少の残業のみであることから、長時間労働に当たる労働は存在しない。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	当社には外国人労働者はいないが、取引先に外国人労働者がいる際にも差別的な言動など行うことは一切ない。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	朝礼での安全確認に加え、安全講習などを常に実施している。 週１回、作業場の安全確認を実施している。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	代表取締役が定期で個人面談を行い、従業員のメンタル面についてケアを行っている。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	時短勤務や産休制度を導入している。 （予定）当社はダイバーシティ経営につなげるため、女性や高齢者を積極的に雇用している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	人材育成について、月に1回勉強会を実施し職人技術について教育訓練などを行っている。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	当社は雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に沿って対応を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	定期健康診断時に基本的な項目だけでなく、追加検査を進め、従業員の健康意識の向上させている。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	建築現場で排出される廃棄物の削減など積極的に取り組むと同時に、分別処分を徹底している。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	主に自社事務所のエネルギー使用料を把握している。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	自社事務所のエネルギー使用料を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。 （予定）新築中の社屋において、太陽光発電を導入し自社消費分をまかなっている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	当社では建築における塗料や接着剤などの有害化学物質を把握し、使用することのないよう取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	自社の建築現場において、土壌汚染などに十分注意しながら経営を行っている。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	特にリデュース（減らす）を目指し、事務所のみならず現場でも削減活動を行っている。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	現場での水利用、及び事務所での水利用について常に使用状況を把握することで利用効率の改善に取り組んでいる。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	当社は環境マネジメントシステムの規格を取得しておらず、事業規模から取得も難しい。しかし今後、自社で取得できそうな規格が出た場合は検討を行う。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	（予定）当社は現在環境の取り組みに関する開示を行っていないが、今後はWebサイトなどを中心に積極的に行っていきたい。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	（予定）現在再生可能エネルギーの利用に取り組んでいないが、新築中の社屋において太陽光発電を導入する。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	特に国産木材を活用していることで、天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	建設業界特有の慣習などにおいても、汚職や贈収賄にかかる事項については特に禁止する旨を定めている。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	公共入札等においても不正競争にかかる行為は一切禁止している。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	当社ネーミングなどについて、現在商標登録の申請を検討している。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報を扱う人員を限定し、さらに鍵やパスワードロックにより厳重に保護している。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	当社は紛争鉱物を扱う業務はない。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	当社、材料仕入先、外注の職人など、当社を取り巻くサプライヤーや外部事業者において当社と認識を共有している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	自社の建築物件は品質保証をつけ、築年数によらずアフターフォローを行っている。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	従業員や職人と技術などの共有を図り、また勉強会を行うことで、常に品質の良い住宅となるような仕組みを構築している。 工程ごとに社内検査を実施している。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	木の床材や漆喰による塗壁などのほか、パッシブ型の住宅設計も行うなど、自然の力を十分に活用した住宅を提供している。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	当社の住宅は国産木材を多く使っており、手刻みの加工であることから職人を必要とするため、日本の職人技術の継承にもつながっている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	自社の活動が地元松代地域にとって常に良い効果が生まれるよう、例えば職場体験なども現在構想を練っている。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	（予定）当社は現在積極的な活動を行っていないことから、今後取り組みを進めていきたい。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域資源の活用においては、県産材の利用のほか、地域職人の活用などを行っている。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	自社の経営理念及び経営ビジョンを定め、社員と経営方針発表と朝礼などを通じて共有を図っている。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	社に勉強会にて、違法行為や脱法行為など、社会上問題となる行為については特に法令遵守の考えを示している。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	当社代表取締役が窓口となり、担当部門を設置している。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	自社のお客様、取引先などに向け、自社の取り組みを発信している。 （予定）OB顧客向けの感謝祭を実施予定。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	当社に起こりうるリスクについて検証を行い、マネジメントを行う仕組みを構築している。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	CSRの活動に基づき、当社の事業活動を積極的にステークホルダーへ発信することで、責任を持った対応に取り組んでいる。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	（予定）当社は現在BCPを策定していないため、今後策定を図りたい。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	当社は事業承継直後であるため、該当しない。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）